



桐蔭キャリア通信 第6号

Toin Career News



和歌山県立桐蔭中学校・桐蔭高等学校 平成26年8月27日発行

金沢工業大学訪問 報告書

日時：8月22日（金）13：00～17：00 23日（土）9：30～11：00

- 目的：（1）キャリア教育に関するカリキュラムについて
（2）ポートフォリオシステムについて
（3）CLIP (Comprehensive Learning Initiative Process) 「総合力」ラーニングについて
（4）プロジェクトデザイン教育について
（5）教育付加価値をめざす取組全般について

訪問者：岸田校長、峯教頭、歌教頭

大町、片山、木本、森田、出光、崎山、西岡（高等学校）
北野、嶋田（中学校）

金沢工業大学（KIT）は、学生、理事、教職員が三位一体となり、学園共同体の理想とする工学アカデミアを形成し、三大建学綱領（高邁な人間形成、深遠な技術革新、雄大な産学協同）の具現化を目的とする卓越した教育と研究を実践し、社会に貢献している大学です。

我が国では、大学は高等教育機関として位置付けられていますが、研究に力を入れている大学数に比べ、教育に力を入れている大学は数少ないと言ってよいでしょう。金沢工業大学は、教育に力を注ぐことを明言し、そのためのプログラムを組み、入学してきた学生に教育付加価値を付けている大学としての評価を得ています。

その点で、大学としての専門教育を施すための教育システムには大いに参考になる点があると考え、特に上に挙げた5点を中心に視察研修を計画しました。また、そこでの取組を直接見聞し、本校にフィードバックしていくために、通常より規模を拡大して12名の訪問団としました。

《日程詳細》

- 22日（金）13：00～13：10 岸田より訪問目的を説明
13：10～14：30 藤本元啓教授（入試部長）より
「金沢工業大学の教育システム」について説明
14：30～15：00 質疑応答
15：00～16：30 施設見学
16：30～17：00 質疑応答
23日（土）9：30～11：00 白木みどり教授（キャリア教育・道徳教育）より
「進学を主とする中学校・高等学校において社会とつながる教育活動とは ～事例の紹介を通じて～」

今回のキャリア通信からは、「金沢工業大学への訪問で知り得たもので、工夫をすれば本校の教育システムに取り込める」という視点で作成された報告書を掲載していきます。HPに詳しく示されているので、HPを活用して金沢工業大学についての基礎的な知識を得ておいてください。また、訪問当日のプレゼン資料は、校内→分掌→キャリア委員会→キャリア教育講演・資料にあります。（文責 歌 保晴）